26　　灰を食べた盗人　　　　　　　　　　　　　敬語②　補助動詞の敬語の訳

「我は某と申し候ひし大臣が子なり。幼くして父に罷りおくれて後、堪へて世にあるべき方便も侍らず。さりとも、今更に人の奴とならアんことも、親のため心憂く思ひ給へて、念じて過ごし侍りしかど、今は命も生くべき策も侍らねば、盗人をこそ仕らイめと覚えて侍るにとりて、並々の人の物は、主の嘆き深く、取り得て侍るにつけて、もの清くも覚え侍らねば、かたじけなくもかく参りて、まづ物の欲しく侍りつるままに、灰を置かれて侍りけるを、さるウべき物にこそと思ひて、これを食べつる程に、物の欲しさ治りて後、灰にて侍りけることを初めて悟り侍れば、『せめては、かやうの物をも食し侍りぬべかりけり。よしなき心をおこし侍りけるものかな』と悔しく思ひて」なんど申す。帝つぶさにこのことを聞き給ひて、御涙を流さエれ、感じ給ふ。

【本文チェック】

①　ア～エの助動詞の、文法的意味・文中での活用形を〔　〕に書きなさい。

ア〔　　　　　　・　　　　　形〕　イ〔　　　　　　・　　　　　形〕

ウ〔　　　　　　・　　　　　形〕　エ〔　　　　　　・　　　　　形〕

②傍線部を現代語訳し、（　）に書きなさい。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

③□「かやうの物」とは何を指すか。本文中から抜き出し、【　】に書きなさい。

【　　　　　　　　】

【語彙力 ✚】

問１　次の語句の意味について、空欄を埋めよ。＊〔数字〕はノート本冊での本文の行数を表す。

１　心憂し〔２〕　　 ①つらい

②（　　　　　　）

２　つぶさなり〔８〕 ①完全だ

②（　　　　　　）

問２　次の傍線部の意味として最も適当なものを選べ。

１　冬などもいと寒げにておはしますもいとかたじけなし。（栄花物語）

ア　気の毒だ　　イ　頼りない

ウ　むなしい　　エ　恐れ多い

（　　　）

２　らは今は罷らむ子泣くらむそれその母もを待つらむそ　（万葉集）

ア　参上し　　　イ　退出し

ウ　おもむき　　エ　うかがい

（　　　）

【文法力 ✚】

問３　次の傍線部の敬語の説明として適当なものを、後から選べ。

１　宮もおはしますを見参らすれば、（和泉式部日記）

２　さし置かれつる杯取りたまひて、あまたたび召し、（大鏡）

３　これよりめづらしきことは候ひなんや。（源氏物語）

ア　尊敬の本動詞　　　イ　尊敬の補助動詞　　ウ　謙譲の本動詞

エ　謙譲の補助動詞　　オ　丁寧の本動詞　　　カ　丁寧の補助動詞

１（　　　）　　２（　　　）　　３（　　　）

問４　次の文の中から敬語を四つ抜き出し、敬語の説明を問３の選択肢から選べ。

　二十日のころ、ある人に誘はれたてまつりて、明くるまで月見ありく事侍りしに、しづる所ありて、せさせて、入り給ひぬ。（徒然草）

（　　　　　　　・　　　）（　　　　　　　・　　　）

（　　　　　　　・　　　）（　　　　　　　・　　　）

問５　次の傍線部を現代語訳せよ。

１　その人、ほどなくせにけりと聞き侍りし。　（徒然草）

（　　　　　　　　　　　　　　　）

２　世の人いみじうしみきこゆ。（栄花物語）

（　　　　　　　　　　　　　　　）

３　の帝は御孫におはしませば、（大鏡）

（　　　　　　　　　　　　　　　）

【探究】鑑賞してみよう

問６　盗人であるとはいえ、「父親や庶民に対する気遣い」を忘れていないその話は、帝の心に強く響いている。では、ここで今一度「父親への気遣い」と「庶民への気遣い」について、それぞれ簡潔にまとめて盗人の人物像を明確にしよう。

〔

〕

【解答】

【本文チェック】

①　ア＝婉曲・連体　イ＝意志・已然　ウ＝適当・連体　エ＝自発・連用

②　食べることができますことよ

③　灰

問１　１＝薄情だ　２＝詳しい

問２　１＝エ　２＝イ

問３　１＝エ　２＝ア　３＝オ

問４　たてまつり・エ／侍り・オ／思し（出づる）・ア／給ひ・イ

問５　１＝聞きました　２＝惜しみ申し上げる

　　　３＝御孫でいらっしゃるので

問６　観点　「父親への気遣い」は父が大臣だったので、人に使われるような情けないことを我慢していたこと、「庶民への気遣い」は庶民の物を盗むのは持ち主の嘆きが深いと考えてやめたことなどとまとめ、そこから盗人の人物像を読み取れていること。

【現代語訳】

問２　１　冬などもたいそう寒そうにしていらっしゃるのもまったく恐れ多い。

２　憶良めは今はもう退出しましょう。子どもが泣いておりましょう。それ、その母親も私を待っていることでしょうから。

問３　１　宮もいらっしゃるのを見申し上げると、

２　前に置かれている杯をお取りになって、何度も（お酒を）召し上がり、

３　これ以上に珍しいことがございましょうか。

問４　　九月二十日のころ、ある人に誘われ申し上げて、夜が明けるまで月を見て歩くことがございましたところ、（ある人が）思い出しなさる場所があって、（従者に）取り次ぎをさせて、（その家に）お入りになった。

問５　１　その人は、まもなく死んでしまったと聞きました。

２　世の人は（藤原行成を）たいそう惜しみ申し上げる。

３　水尾の帝は御孫でいらっしゃるので、